

2026年3月期第3四半期

決算後 IR ミーティング 質疑応答

【日 時】 2026年2月9日（月）11:00-11:45

【形 式】 オンライン配信

【登壇者】 IR 広報室長 山田哲也

（※）主な質疑応答の要旨を記載しております。

質問 : 昨年末からメモリ価格高騰や一部で調達難が発生しているが 3Q 業績に影響はあったのか。

回答 : メモリの他にハードディスク等、部材価格の高騰、またそれによる単価の値上げも一部で発生している。当社が取り扱っている商品では 4 月以降に大幅な値上げが実施されるという情報もあり、業績への影響については今後情報を精査した上で見通しを開示させて頂く。

質問 : 年間 PC 出荷計画約 640 万台を前提とすると、4Q（1～3 月）は約 130 万台の見込みとなるが、3Q（10～12 月）実績約 198 万台から大幅な減少となる背景について教えてほしい。

回答 : 4Q の出荷台数見込みが相対的に少ないように見えるが、予想以上に GIGA スクールの出荷が 3Q に集中したことが背景。4 月から各学校で使用するためには途中の設定作業等も考慮して、当社から 12 月中に出荷する必要があり、3Q の出荷実績が伸長した。Windows10 サポート終了に伴う更新需要もまだ残っているが、今後 4Q にかけて収束していく見通し。

質問 : 部材価格高騰と供給懸念の説明があったが、商品調達や粗利率への影響等、現時点での見通しについて教えてほしい。

回答 : 通常、販売単価の値上げは売上高増加に繋がるためポジティブと言えるが、値上げ

幅が大きいと買い控えや購入台数の抑制も考えられる。国内企業において DX 推進の優先度は高く、IT 投資が急速に縮減する可能性は低いとみているものの状況は注視している。値上げ後の単価が市場で浸透していく過程では、エンドユーザーの予算に合わせた値引き交渉が発生し、一時的に粗利率が低下することも考えられるが、台数が維持できれば売上高を押し上げることとなる。その他、当社への具体的な影響については今後も精査していく。

質問 : 株式市場では「SaaS の死」と言われ IT セクターの関連銘柄が下落した。AI の台頭によって SaaS が低迷していくのであれば、当社のビジネスにどのような影響がもたらされるのか。

回答 : AI 含めた技術の進化は IT 商品・サービスの用途、利用機会の拡大に繋がり、当社ではポジティブに捉えている。AI を利用するための基盤アプリケーション等、今後も必要となる SaaS はあると考えており、当社としては顧客の課題、ニーズを捉えながら幅広い提案ができる体制を強化していく。

質問 : PC 単価の値上げで通常 PC と AI PC の価格差が縮小し、今後 AI PC の普及が進む可能性はないか。AI 関連商品への顧客のニーズは現在どのような状況か。

回答 : 値上げによる AI PC 含めた需要動向の見通しは難しいが、AI への期待は高まっていると認識している。現在はどのような業務・場面で AI を活用し現場改善を図るかを検討する段階にある。AI によって新たなニーズが生まれた場合、当社は必要となるハードウェア、アプリケーション、サービスの機会を逃さず提案することが重要となる。価格が上昇しても、必要なスペックに応じた商品の需要は継続すると考えている。

質問 : BCC 株式会社との資本業務提携の目的と、今後出資を増やす計画はあるのか。

回答 : IT 領域での強化、進化は現・中期経営計画の重点施策の一つ。今回の提携は「IT サービス」領域の機能拡充にあたる。同社は IT 営業人材に強みを持ち、提携によって IT 人材育成・アウトソーシングの知見、ノウハウを蓄積することが目的。今後については現在協議中のため、進捗があれば開示させて頂く。

質問 : 年間 PC 出荷計画約 640 万台のうち、GIGA スクールの計画台数を教えてほしい。

回答 : GIGA スクール向けの PC 出荷は約 250 万台、残り約 390 万台が主に法人向けとなる。

質問 : GIGA スクールの更新需要が終了する 2028 年 3 月期の営業利益はどうか。

回答 : 入札のため利益が確保しづらい GIGA スクールが終了する分、粗利率は改善する見通し。

質問 : 部材価格の高騰について、現時点で PC の調達および供給に問題が発生しているか。また PC の価格弾性値はどの程度か。

回答 : 現時点で調達および供給に問題は発生していない。過去 10 年をみても PC 単価は変動している一方、一時的な更新サイクル期間を除き、国内市場における年間 PC 出荷台数は約 1100 万台を維持している。PC は必需品であることから今後著しく台数が減少することは考えにくい。

質問 : 商品在庫が増加しているが、GIGA スクール分を除いた通常の在庫はどの程度保有しているのか。

回答 : 当社では通常月商の 0.5~0.7 か月分の在庫を保有している。4 月以降の値上げや供給懸念に備え、現在在庫の確保を進めており、3 月末時点で通常より在庫が増える可能性はある。

質問 : 4 月以降の大幅な単価の値上げはどの程度を予想しているか。

回答 : メーカーの状況にもよるが PC 単価で約 20~30%の値上げが想定される。値上げの情報やそれによる需要の変化について状況を精査している。

以上